

2026年3月期
決算説明会

2026年5月20日



代表取締役会長
早河 洋

連結業績

(単位：百万円)

	2024年度	2025年度	前期比	増減率
売上高	324,056	339,487	+ 15,431	+ 4.8%
営業利益	19,704	26,181	+ 6,477	+ 32.9%
経常利益	28,533	36,572	+ 8,039	+ 28.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	25,816	29,654	+ 3,838	+ 14.9%

地上波広告収入やインターネット事業が伸長し増収増益、売上高・各段階利益は上場来最高

経営計画2023-2025 主な成果

経営計画2023-2025


BREAKOUT STATION!

新しい時代のテレビ朝日



視聴率目標

2025年度までに年間・年度の個人全体視聴率 3冠達成

2024年と2025年の年間・年度ともに
個人全体視聴率・世帯視聴率で **3冠達成** 

定量目標（連結業績）

2025年度までに 売上高3,300億円、営業利益200億円、
経常利益250億円、親会社株主に帰属する当期純利益200億円 を目指す

2025年度実績において
売上高と各段階利益で目標を達成

成長投資

成長投資枠 500億円



IP開発投資



個人全体、世帯視聴率 年間・年度ともに2年連続3冠達成

		年間					年度					
		テレビ朝日	日本テレビ	TBS	フジテレビ	テレビ東京	テレビ朝日	日本テレビ	TBS	フジテレビ	テレビ東京	
2024年	全日 (6-24時)	個人	 3.5	3.4	2.7	2.2	1.2	 3.5	3.4	2.8	2.2	1.2
		世帯	 6.4	6.0	4.9	4.0	2.1	 6.4	5.9	4.9	4.0	2.1
	ゴールデン (19-22時)	個人	 5.3	5.3	4.3	3.5	3.1	 5.3	5.3	4.4	3.5	3.0
		世帯	 9.0	8.4	6.9	5.5	5.2	 9.0	8.4	7.0	5.6	5.1
	プライム (19-23時)	個人	 5.3	5.0	4.2	3.4	2.7	 5.3	5.0	4.2	3.4	2.6
		世帯	 9.1	8.0	6.8	5.5	4.6	 9.1	7.9	6.8	5.6	4.5
2025年	全日 (6-24時)	個人	 3.5	3.4	2.8	2.1	1.1	 3.4	3.3	2.7	2.1	1.1
		世帯	 6.3	5.8	4.9	3.7	2.0	 6.3	5.7	4.8	3.6	2.0
	ゴールデン (19-22時)	個人	 5.2	5.2	4.5	3.4	2.9	 5.2	5.1	4.5	3.4	2.9
		世帯	 8.8	8.1	7.0	5.4	4.8	 8.8	7.9	7.0	5.3	4.8
	プライム (19-23時)	個人	 5.2	4.8	4.3	3.3	2.5	 5.2	4.7	4.3	3.2	2.5
		世帯	 8.9	7.6	6.9	5.3	4.2	 8.9	7.4	6.8	5.2	4.2

(ビデオサーチ調べ、関東地区)

※2024年年間：2024/1/1～2024/12/29、2024年度：2024/4/1～2025/3/30、2025年年間：2024/12/30～2025/12/28、2025年度：2025/3/31～2026/3/29、単位%

2025年度 視聴率トピックス

報道情報

- ◆ 各ベルト番組が同時時間帯トップを獲得し、大きく貢献：「グッド！モーニング」（開局以来初）、「羽鳥慎一モーニングショー」（6年連続）、「大下容子ワイド！スクランブル」（第1部12年連続、第2部5年連続）、「報道ステーション」（7年連続）
- ◆ 週末の「サタデーステーション」（5年連続同時時間帯トップ）、「有働 Times」（同時時間帯2位）も堅調に推移

ドラマ

- ◆ 2025年度の民放連続ドラマトップ10に5作品がランクイン：「相棒 season24」（5位）、「緊急取調室」（6位）、「おコメの女－国税局資料調査課・雑国室－」（7位）、「大追跡～警視庁SSBC強行犯係～」（8位）、「特捜9 final season」（9位）

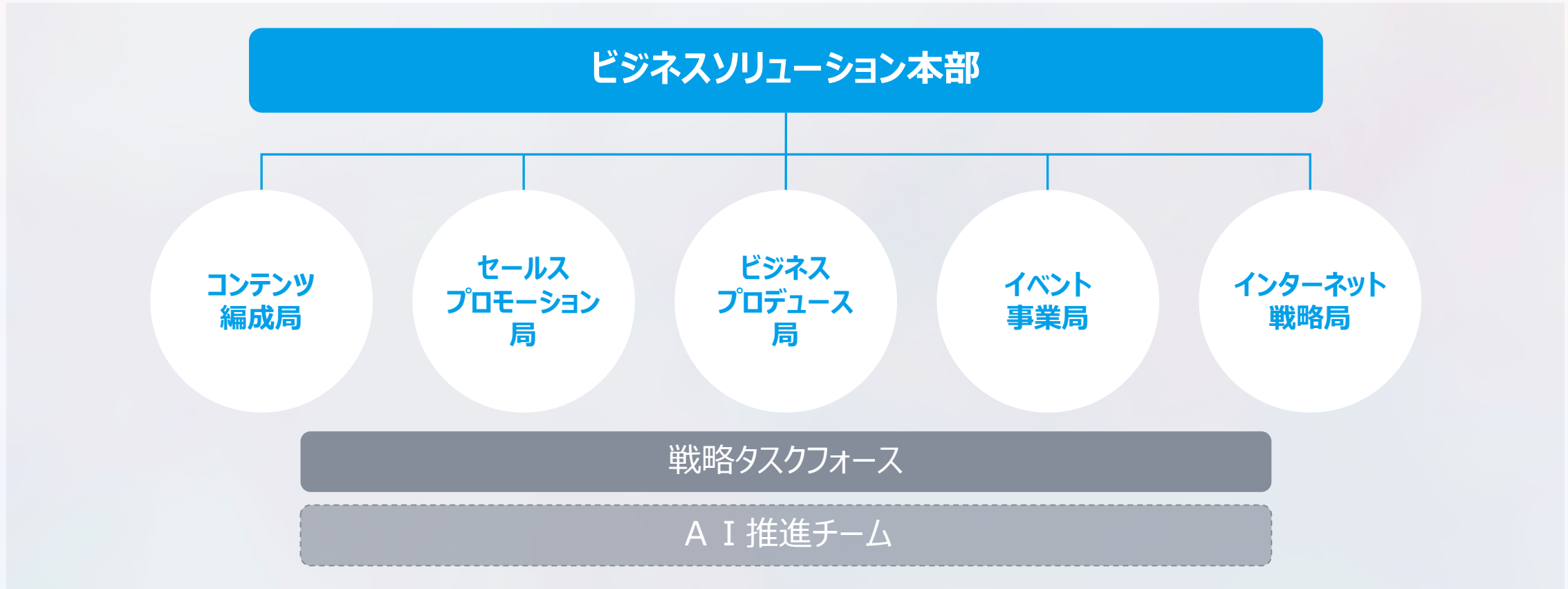
バラエティ

- ◆ 全局バラエティ1位の「ザワつく！金曜日」や「ポツンと一軒家」、「マツコ&有吉かりそめ天国」、「池上彰のニュースそうだったのか!!」などの週末レギュラーバラエティが大きく貢献、クイズ番組「Qさま!!」、「ミラクル9」も好調に推移
- ◆ 単発番組「タモリステーション」、「徹子の部屋 フィギュア界の歴史を変えた世界最強りくりゆうペアスペシャル」などが高視聴率を獲得

スポーツ

- ◆ 「サッカーキリンチャレンジカップ2025 日本×ブラジル」（25/10/14） 個人全体10.4%
- ◆ 「WBC強化試合 日本×阪神」（26/3/3） 個人全体10.3%

コンテンツの収益化を強化

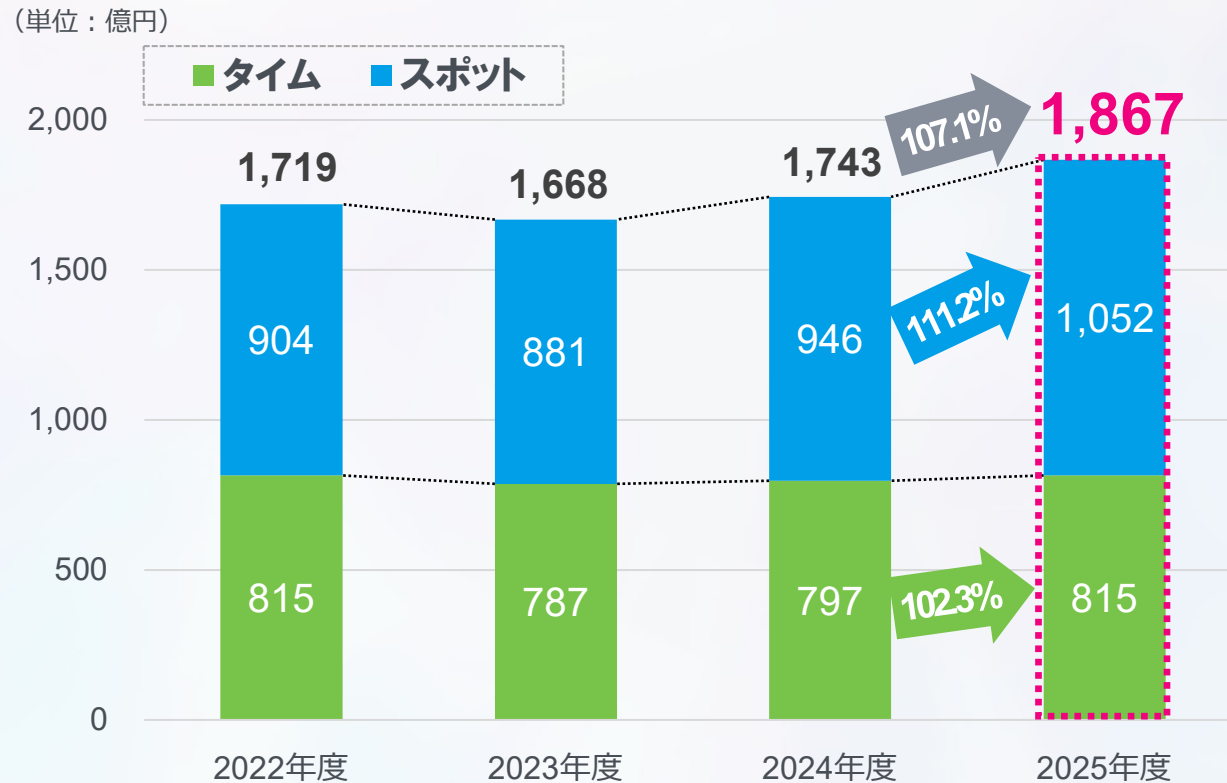


迅速かつ付加価値を付けた企画提案で収益拡大

地上波広告収入

出稿の特需と好調な視聴率を背景に、力強い増収

地上波広告収入の推移



スポット

- ◆ 需要を効果的に取り込み、**スポット売上とシェアは過去最高記録を更新**

スポットシェア

2025年度 **26.6%**

(前期比+1.9 pts)

※東京地区投下量シェアについては推計

タイム

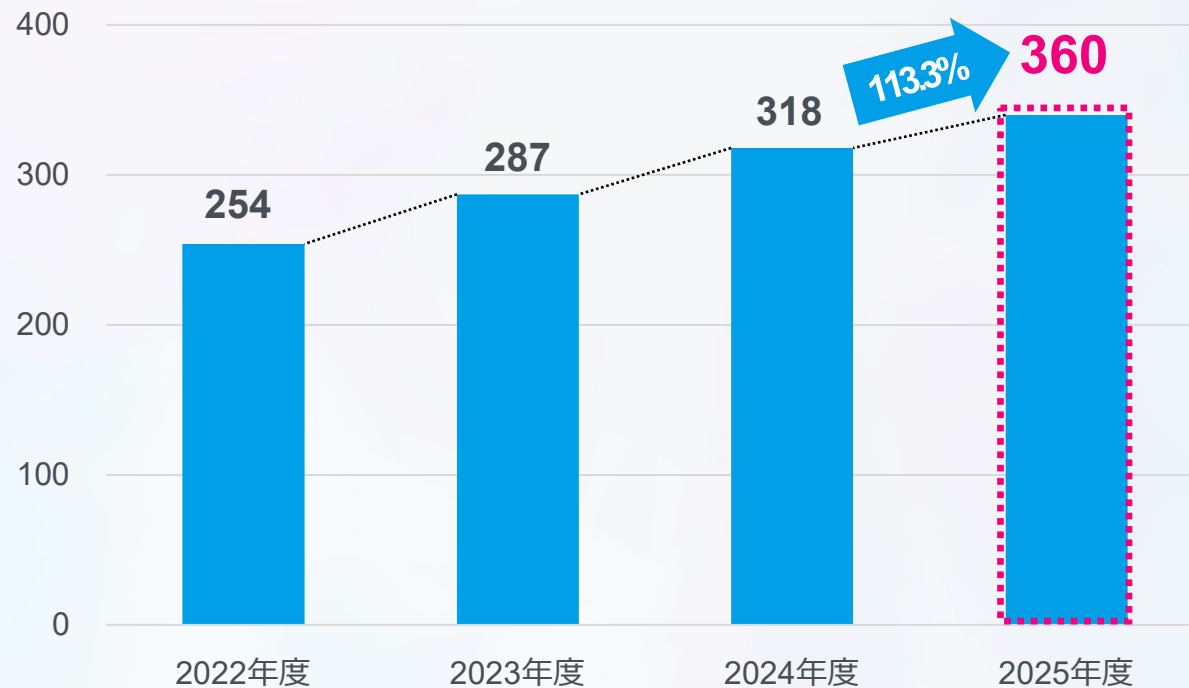
- ◆ 2025年度4月・10月改編セールスが好調に推移
- ◆ 昨年度の「パリ五輪」の反動減の中、単発は「世界フィギュアスケート国別対抗戦」「ミラノ五輪」などの大型セールスや年末年始特番の堅調なセールスを実現

インターネット事業収入

コンテンツ開発・展開によりマネタイズ機会を創出し、大きく増収

インターネット事業収入の推移

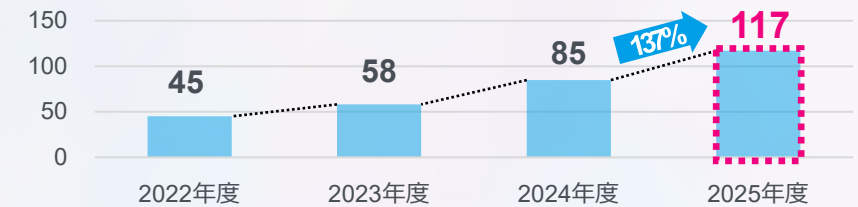
(単位：億円)



テレビ朝日 デジタル広告関連収入 (TVer等)

◆ 再生数の伸長とともに大きく拡大

(単位：億円)



TELASA

- ◆ 会員240万人突破 (26年3月)
- ◆ 地上波と連動したオリジナルコンテンツや、「推し活」ニーズに対応した番組やライブの生配信等も展開

ABEMA

TV for the Future

- ◆ WAU2,300万前後で推移、高い水準を維持
- ◆ ドラマ・バラエティ等オリジナル番組の視聴が好調
- ◆ 24時間ニュースチャンネルABEMA NEWSはライブライ儿的なメディアとして支持拡大

IP・コンテンツ展開施策と新領域開拓

主な地上波コンテンツの360°展開の取り組みと新領域開拓

人気ドラマシリーズの映画化

- ◆ 「劇場版ドクターX FINAL」(24年12月公開) 興行収入32.8億円
- ◆ 劇場版「緊急取調室 THE FINAL」(25年12月公開) 興行収入14.2億円

メディアシティ戦略の強化

- ◆ 人気バラエティなどの番組連動イベントを企画・実施し、恒例イベントに成長
- ◆ グローバルミュージックフェスティバル「The Performance」を開発(24年4月)、テレビ朝日「4大音楽フェス」を確立
- ◆ 東京ドリームパーク開業(26年3月)



新領域開拓の推進

- ◆ 東映と新たなエンターテインメントの創造に向けたパートナーシップ (24年5月)
コンテンツ制作、グローバル展開、リアルエンタテインメントの各分野のIPビジネスを推進
- ◆ アニメIPビジネスを強化
アニメ枠を新たに夜帯に2枠設置し(24年10月～、25年4月～)、全国ネット枠を5枠に増加
- ◆ オリジナルIP開発を強化
BookLive社(23年4月)と壽屋(24年4月)を持分法適用関連会社化し、注目のオリジナル漫画や人気プラモデルIP「アルカナディア」のアニメ化を推進
- ◆ 二人組合CVCを組成 (25年7月)

“イノベーション” ⇒ 新しい価値の創造

STARTUP↑テレ朝!!

経営計画 2026-2029

経営計画2026-2029 目指す姿

2つのステージ ～ 縦横無尽に事業展開、イノベーション と大きな成長を実現

“イノベーション” ⇒ 新しい価値の創造

STARTUP テレ朝!!

2年連続“視聴率3冠”
コンテンツ制作力と圧倒的リーチ力



有明の一大拠点
リアルイベント&新たなIP開発

コンテンツファーストで“IP開発”でトップ!、“イベント”でトップ!
～そして、グローバル展開へ～

定量目標

連結売上高**4,000**億円、営業利益**330**億円、経常利益**430**億円、当期純利益**380**億円
ROE目標 : **7%台** (2030年代早期に**8%**)

経営計画 5つのキーストラテジーと事業基盤

5つのキーストラテジー

東京ドリームパーク TDP

新たな“事業拠点”構築

- テレ朝IP～戦略的展開
- 有明エリアの賑わい創出
新たな収益の柱に
- 大型イベント開発で
業界トップレベルの業績



IP

魅力的な“IP創出”

- 【地上波】視聴率**トップ!**
- 【アニメ】IP倍増へ
制作体制強化
- 【配信】PF別 価値最大化
- 【セールス】ソリューション施策強化等で増収
- 【グローバル】
北米・インド等 海外IP展開

ABEMA

連携強化!

- 当社独自～サイバーエージェントとの共同事業
- 開局10周年 **連携強化**
- コンテンツ相互補完強化
- **データ基盤統合・活用** 等



二人組合 CVC

START UPを取り込む

- 既存事業の「成長」加速と
新領域の探索を行う
- 合計30社程度に投資
- 【成長投資】**1,000億円**
の投資枠でM&Aも実施



AI

イノベーションを 生み出す

- AI活用 ⇒ 「コンテンツ開発」& 「ビジネス開発」で新たな収益構造を創出
- AI活用で生まれた“経営資源”を**クリエイティブ領域に集中投下**
- **新組織「AIクリエイティブスタジオ」**を新設し、取り組みを加速



事業基盤

人事戦略

(クリエイティブ人財獲得・育成)

サステナビリティ

(人権・ガバナンス)

財務戦略

(資本効率向上・株主還元強化)

東京ドリームパーク



**TOKYO
DREAM
PARK**



TOKYO DREAM PARK

イベントや当社IPを戦略的に展開し、新たな“事業拠点”を構築

TOKYO DREAM PARK 3/27開業後、想定を超えて推移

- 「開業記念 有明春祭り」にて、地上波人気番組と楽しむDREAMランタン、TOYOTA ARENA TOKYOでのスペシャルイベント、ABEMA開局10周年記念特別番組や人気恋愛リアリティショーなどとの連動イベント、「映画ドラえもん 新・のび太の海底鬼岩城」との連動施策などを実施
- 「開業記念 有明春祭り」の来場者数が57万人突破（当初目標の1.3倍）

劇場「EXシアター有明」 2026/4/25オープン

EX THEATER ARIAKE

◆ OPENING LINEUP ◆



(左より)

- ・「AmberS -アンバーズ-」 2026/4/25-5/24
- ・劇団☆新感線 46周年興行・夏公演 SHINKANSEN ☆ RSP 怪奇骨董音楽劇「アケチコ!～蒸気の黒ダイヤ、あるいは狂気の島～」 2026/6/12-7/12
- ・ミュージカル「ディア・エヴァン・ハンセン」 2026/7/25-8/23
- ・ミュージカル「タイムトラベラーズ・ワイフ」 2026年9月

SGC HALL ARIAKE



夫が寝たあとに ママ会ライブ
～ミキティの喝! なっちゃんの涙!
上半期の疲れをデトックスSP～
2026/6/4



10年目記念で有明に引っ越しだよ!
六本木アイドルフェスティバル 2026
2026/7/25-26

8階 イベントスペース

「レーヴ・デ・リュミエール」
2026/6/12 OPEN



IP : 4月クール

全てのジャンルで強いコンテンツ・IPを創出

オールターゲット戦略で、あらゆる世代のニーズに応えるタイムテーブルを追求

- ◆ 平日帯「有働由美子の健康案内人!」、週末「よ〜い!スターと!トビダスクール」
- ◆ バラエティでは、プライムタイムに「サンド&キスマイの気になるマン」
- ◆ 深夜帯は、「アフタープライム大作戦」で収益性&IP開発に力点

報道情報番組の推移 ニュース需要の高まりもあり、軒並み好調

- ◆ 平日ベルト番組は、「報道ステーション」が前クール比&前年同クール比で大幅に上振れて推移、「グッド!モーニング」「羽鳥慎一モーニングショー」「大下容子ワイド!スクランブル(第2部)」「スーパーJチャンネル」が前年同クール比でアップ
- ◆ 週末は、「有働Times」が前クール比&前年同クール比でアップ、土曜・日曜の「グッド!モーニング」「ワイド!スクランブルサタデー」、日曜「ANNスーパーJチャンネル」、が前年同クール比でアップ



連続ドラマランキングの推移 2作品が民放連続ドラマランキング上位にランクイン

- ◆ 「未解決の女」(2位)、「ボーダレス〜広域捜査移動隊〜」(3位)

IP : アニメ

当社強みを生かしたIP開発や大手出版社などの連携強化でアニメIP展開数を2倍に
世界で戦えるプロフェッショナル集団へ

tv asahi animation

KIDs & Family

国内外にてIP展開を推進



「ドラえもん」



「クレヨンしんちゃん」



インド版「おぼっちゃまくん」

Young & Adult

NUMAnimation
Xアニメーション

IMAnimation
イマニメーション

IMAnimation
イマニメーションダブル

人気IPのアニメ化

「週刊少年ジャンプ」
(集英社)連載中



「あかね噺」

BookLive社
原作コミック



『「きみを愛する気はない」と言った「アルカナディア」
次期公爵様がなぜか溺愛してきます』

壽屋の大ヒット
プラモデルシリーズ



Light Fun <Short Anime>

ショートアニメのIPビジネスを
拡大



「コウペンちゃん」



「しろたん」



「ポップパップポルターズ」

ABEMA

テレビ朝日【リニア】 × ABEMA【デジタル】 の連携強化

ABEMA開局10周年記念番組 地上波との連携を推進

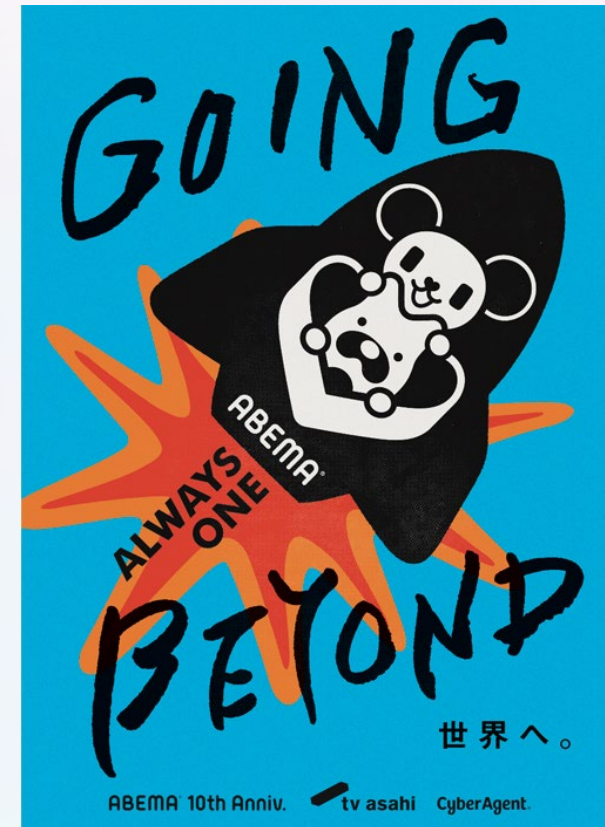
- 両社が持つ視聴者層へリーチするために、「ABEMA開局10周年記念 特別番組『30時間限界突破フェス』」にて、地上波で「開幕SP」と「あざとくて何が悪いの？ 特別編 令和の最強あざかわソングSP」の同時生放送を実施
- ニュース・アニメ・麻雀ら主力コンテンツが堅調に推移する中、開局10周年の企画が大きな反響を呼び、ABEMAの4月第2週はWAU2,500万を突破

ABEMAオリジナルコンテンツと東京ドリームパークの連動

- 「東京ドリームパーク開業記念 有明春祭り」(3/27-5/10) にて、ABEMA人気コンテンツの展開と連動
- オリジナル恋愛番組「今日、好きになりました。」の特別イベント(3/27)、「ABEMA開局10周年記念 特別番組『30時間限界突破フェス』」ライブビューイングイベント(4/11)、ABEMA将棋chと連動の「藤井聡太とABEMA将棋と、目隠し将棋」のイベント(4/12)などを開催

データ基盤の統合と活用

- 両プラットフォームの視聴データをAIで統合・分析することで、強力なターゲティング能力を確立していく



ABEMA開局10周年「GOING BEYOND」始動！
これまでの「一枚岩」を深化させた新キャッチコピー

CVC

「既存事業の成長加速」と「新領域の探索」によりイノベーションを促進

- 2025年7月、シンプレクス・キャピタル・インベストメント株式会社と二人組合形式のCVCファンドを設立
- スタートアップ投資などを通じて、本業の更なる発展と新規事業領域の拡大

【現状投資先】

合計30社ほどに
出資予定



短編映画配信プラットフォーム
SAMANSA



eスポーツ関連事業
CELLORB



ゲーム開発事業
ネコメ

など

動画コンテンツ企画・制作、ゲーム・IP開発など、コンテンツやテクノロジー領域を中心に
エンタテインメントの可能性を拡張するスタートアップ企業へ出資

成長投資

戦略投資枠1,000億円を活用し、
成長のための投資活動を加速（M&Aなど含む）



アニメスタジオ・イベント制作
HIKE Holdings に出資

AI

イノベーションを生み出すために、コンテンツ制作や業務改革におけるAI活用を加速

新組織「コンテンツ編成局 AIクリエイティブスタジオ」発足（26年4月1日）

- 番組「AI大作戦」（6月より毎週水曜深夜放送予定）を通して、当社クリエイターの育成やオリジナルIPやショートアニメ制作等を推進
- 生成AIによるコンテンツ創出やIPの多角的展開などのAIビジネス開発を推進

短編オリジナルアニメ「ハナと不思議な冒険」がAI映画祭で受賞

- AIの制作・クリエイティブへの活用のトライアルの一環として、AIを活用しアニメ制作を行う次世代型スタジオTOKYO EPIC社と共に作り上げた、短編オリジナルアニメ
- World AI Film Festival 2026 in KYOTO AIアニメ部門で審査員特別賞を受賞



<https://www.youtube.com/watch?v=l-e6VEeldBA>

業務効率の推進

- 全社で削減または省力化可能な業務を洗い出し、AIの利用で効率化を推進
- 生み出されたリソースを、コンテンツやビジネスに投下

アバター「AI早河会長」を開発



「AI早河会長」

- 会長の過去の発言や社内の独自データを学習させ、会長の視点に基づいた回答を生成
- 社内行事やイベントでの登壇、社員との対話、企画案の壁打ち等での利用を想定

サステナビリティの取り組み

人権への取り組み

2025年度の人権デュー・デリジェンス（人権DD）

- 2025年9月、前年のテレビ朝日に加え、対象をグループ会社（23社）に広げアンケートを実施
- 各社における人権リスクの特定とグループ会社全体の人権リスクの把握、ならびにテレビ朝日における対応策の有効性検証と人権意識のモニタリングを実施
- アンケート結果を踏まえ、ハラスメント防止のための意識醸成や長時間労働対策、安全衛生対策など、各社で人権リスク低減に向けた施策を検討、実施を開始
- グループ会社相互の連携も強化し、人権意識の向上や職場環境の改善を図ること、人権リスクへの対応を一層推進
- 今後も定期的に人権DDを実施予定

技術展示会 ゴーテック2026

ゴーテック
GOTECH 2026

(2026/2/19-20開催)

- 最新技術の知見を共有し、日々の業務や番組制作に生かすことを目的とした社内関係者向けのイベントを毎年開催
- 14回目の今回は、没入感のある体感型の最新技術やAIを活用した業務効率化など、活用・導入事例も紹介
- 番組コンテンツの制作から、イベント事業、日常業務のDX化まで、テクノロジーで新しい未来の創造を目指す



生成AIとセンシング技術を融合した
インタラクティブコンテンツ「Bloomscape」

TOKYO DREAM PARK

- 環境と共生する都市型施設を目指し、脱炭素社会の実現や生物多様性の保全に配慮した、先進的なサステナビリティ施策を導入
- 再生可能エネルギー100%の利用を目指して、2026年4月1日より再エネ電力の購入契約を開始
- TDPの緑化率は約48%を確保し、100種類以上の植物を取り入れ、敷地の外から建物内の緑が多く視認できる「立体的な緑の空間」を目指す
- 屋上庭園等では、生物多様性に配慮した植栽を展開
- 脱炭素を支える設備として、屋上の太陽光パネル、地下駐車場のEV急速・普通充電器、風力と太陽光で発電するハイブリッド街路灯、バイクシェアポートを設置



左上より時計回り：屋上庭園（イメージ画像）、太陽光パネル、EV急速・普通充電器、バイクシェアポート、ハイブリッド街路灯

連結業績予想

(単位：百万円)

	2025年度実績（参考値）	2026年度予想	前期比	増減率
売上高	339,487	350,000	+10,512	+3.1%
メディア・コンテンツ事業	308,843	305,700	△3,143	△1.0%
TDP・イベント事業	26,598	39,400	+12,802	+48.1%
その他	4,045	4,900	+855	+21.1%
営業利益 [EBITDA]	26,181 [35,395]	20,000 [31,300]	△6,181 [△4,095]	△23.6% [△11.6%]
メディア・コンテンツ事業	25,487	18,300	△7,187	△28.2%
TDP・イベント事業 [EBITDA]	△370 [597]	500 [3,700]	+870 [+3,102]	— [+519.2%]
その他	1,080	1,200	+120	+11.1%
調整額	△16	—	+16	—
経常利益	36,572	28,000	△8,572	△23.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	29,654	25,000	△4,654	△15.7%

※ 2026年度セグメント区分の変更にとまない、2025年度の数値については変更後の区分により作成したものを使用（参考値）

取締役

角南 源五

連結業績

(単位：百万円)

	2024年度	2025年度	前期比	増減率
売上高	324,056	339,487	+ 15,431	+ 4.8%
テレビ放送事業	236,798	248,750	+ 11,952	+ 5.0%
インターネット事業	31,840	36,087	+ 4,247	+ 13.3%
ショッピング事業	20,223	18,400	△ 1,822	△ 9.0%
その他事業	50,857	52,481	+ 1,624	+ 3.2%
調整額	△ 15,662	△ 16,232	△ 570	—
営業利益	19,704	26,181	+ 6,477	+ 32.9%
テレビ放送事業	11,289	18,758	+ 7,468	+ 66.2%
インターネット事業	3,698	5,310	+ 1,611	+ 43.6%
ショッピング事業	1,505	1,082	△ 423	△ 28.1%
その他事業	3,242	1,074	△ 2,168	△ 66.9%
調整額	△ 31	△ 43	△ 12	—
経常利益	28,533	36,572	+ 8,039	+ 28.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	25,816	29,654	+ 3,838	+ 14.9%

テレビ放送事業

(単位：百万円)

	2024年度	2025年度	前期比	増減率
売上高	236,798	248,750	+ 11,952	+ 5.0%
タイム収入	79,720	81,541	+ 1,820	+ 2.3%
スポット収入	94,626	105,231	+ 10,605	+ 11.2%
番組販売収入	14,615	13,443	△ 1,172	△ 8.0%
BS・CS収入	26,212	25,907	△ 304	△ 1.2%
その他収入	21,622	22,626	+ 1,004	+ 4.6%
営業利益	11,289	18,758	+ 7,468	+ 66.2%

タイム収入（地上波）

(単位：百万円)

	2024年度	2025年度	前年同期比	増減率
上期	39,077	40,065	+988	+2.5%
下期	40,643	41,475	+832	+2.0%
通期	79,720	81,541	+1,820	+2.3%

主な増減要因

レギュラー

4月・10月改編の2改編連続で固定収入の大幅なベースアップを実現

単発

昨年度の「パリ五輪」の反動減の中、「世界フィギュアスケート国別対抗戦」「ミラノ五輪」などの大型セールスや年末年始特番の堅調なセールスを実現

スポット収入 (地上波)

(単位：百万円)

	2024年度	2025年度	前年同期比	増減率
上期	41,842	51,943	+ 10,100	+ 24.1%
下期	52,783	53,288	+ 505	+ 1.0%
通期	94,626	105,231	+ 10,605	+ 11.2%

東京地区投下量シェア



※東京地区投下量シェアについては推計

前年同月比推移



番組制作費（地上波）

(単位：百万円)

	2024年度	2025年度	前年同期比	増減率
上期	39,940	38,604	△1,335	△3.3%
下期	39,218	40,888	+1,670	+4.3%
通期	79,158	79,493	+334	+0.4%

主な増減要因

レギュラー

枠変更やコンテンツ強化等に伴い弾力的に運用

単発

「世界フィギュアスケート国別対抗戦」、「世界水泳シンガポール」、「FIBAバスケットアジアカップ」、「ミラノ五輪」等に対して、前期の「パリ五輪」、「サッカーパリ五輪アジア最終予選」、「世界プレミア12」、開局65周年記念の大型ドラマ等の反動減あり

インターネット事業

(単位：百万円)

	2024年度	2025年度	前期比	増減率
売上高	31,840	36,087	+4,247	+13.3%
営業利益	3,698	5,310	+1,611	+43.6%



WAU 2,300万人



TikTok公式アカウント



フォロワー数 570万人

24時間 365日 全力配信! ANN NEWS

YouTube公式チャンネル登録者数 498万人



YouTube公式チャンネル登録者数 205万人



会員数 240万人突破 (26年3月末)

※登録者数・フォロワー数は2026年4月現在の件数

デジタル広告関連収入

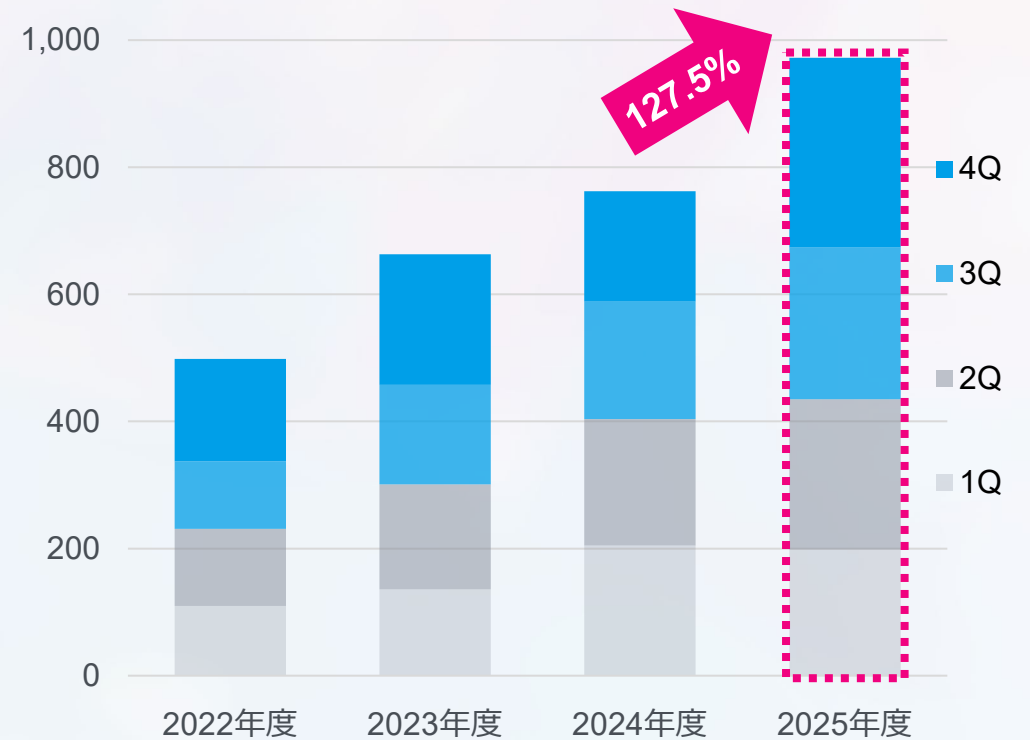
テレビ朝日 デジタル広告関連収入 (TVer等)

(単位：百万円)

	2024年度	2025年度	前年同期比	増減率
上期	3,481	5,300	+ 1,818	+ 52.2%
下期	5,112	6,495	+ 1,382	+ 27.0%
通期	8,594	11,795	+ 3,200	+ 37.2%

テレビ朝日 キャッチアップ配信再生回数

(百万回)



ショッピング事業

(単位：百万円)

	2024年度	2025年度	前期比	増減率
売上高	20,223	18,400	△1,822	△9.0%
営業利益	1,505	1,082	△423	△28.1%

<https://ropping.jp><https://shop.tv-asahi.co.jp><https://ichiban-boshi.com>

その他事業

(単位：百万円)

	2024年度	2025年度	前期比	増減率
売上高	50,857	52,481	+ 1,624	+ 3.2%
営業利益	3,242	1,074	△ 2,168	△ 66.9%

主なその他事業収入

(単位：百万円)

	2024年度	2025年度	前期比	増減率	主な増減要因
音楽出版	13,995	16,285	+ 2,289	+ 16.4%	前年開催のケツメイシのツアーがなかったものの、提携するアソビシステム所属アーティストの活動による売上や音楽出版売上が貢献
イベント	11,417	8,961	△ 2,456	△ 21.5%	前年のテレビ朝日開局65周年イベントとして開催した「テレビ朝日ドリームフェスティバル2024」「The Performance」の反動など
機器販売・リース料	7,176	8,362	+ 1,185	+ 16.5%	イベントの機器レンタル案件の受注の増加など
出資映画	4,486	5,282	+ 795	+ 17.7%	「映画ドラえもん」と「映画クレヨンしんちゃん」が好調、海外販売も好調
DVD	973	690	△ 282	△ 29.1%	前年の「おっさんずラブ-リターンズ-」の反動など

設備投資・減価償却費

設備投資

(単位：億円)

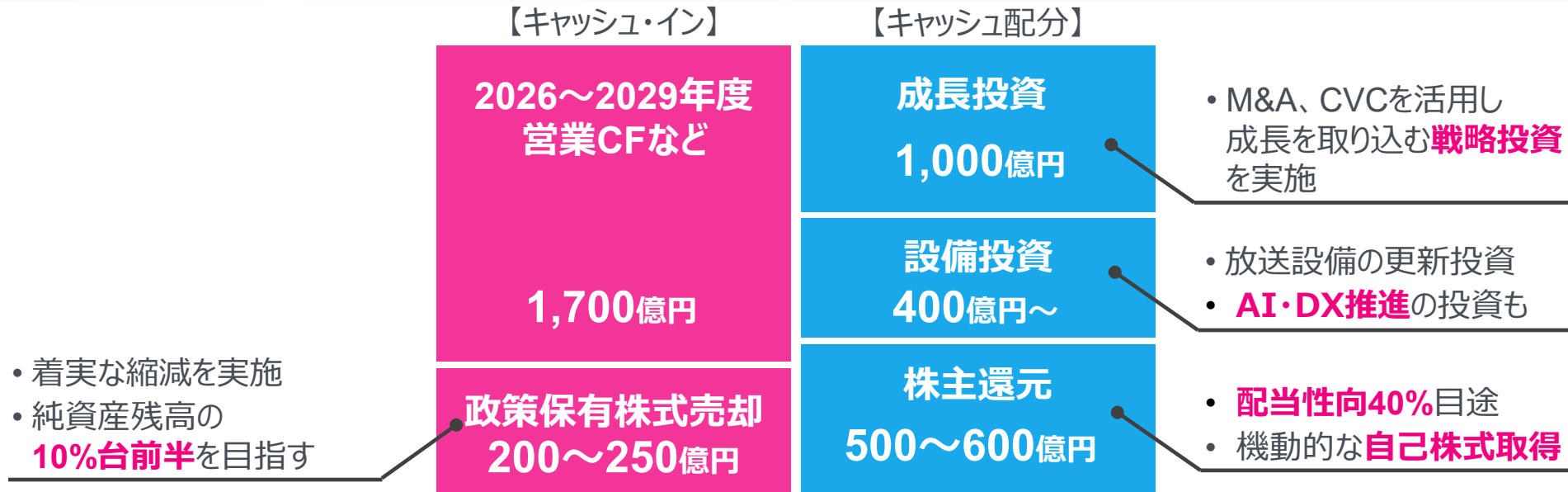
	2024年度	2025年度	前期比	増減率	2026年度 (予想)
連結	359.8	160.7	△199.0	△55.3%	133.0
テレビ朝日	327.4	134.2	△193.2	△59.0%	124.0

減価償却費

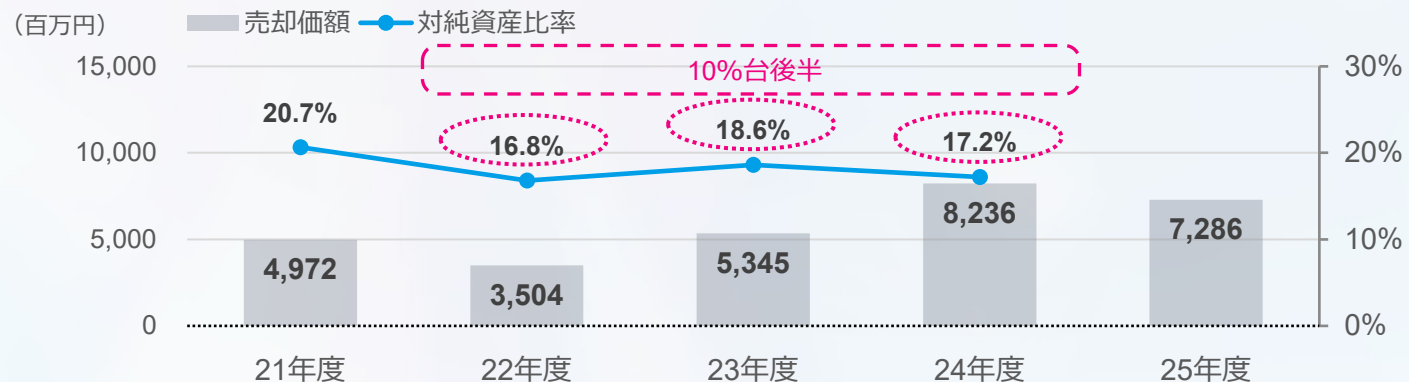
(単位：億円)

	2024年度	2025年度	前期比	増減率	2026年度 (予想)
連結	94.7	92.1	△2.6	△2.8%	113.0
テレビ朝日	74.9	71.0	△3.9	△5.2%	90.0

キャピタル・アロケーション

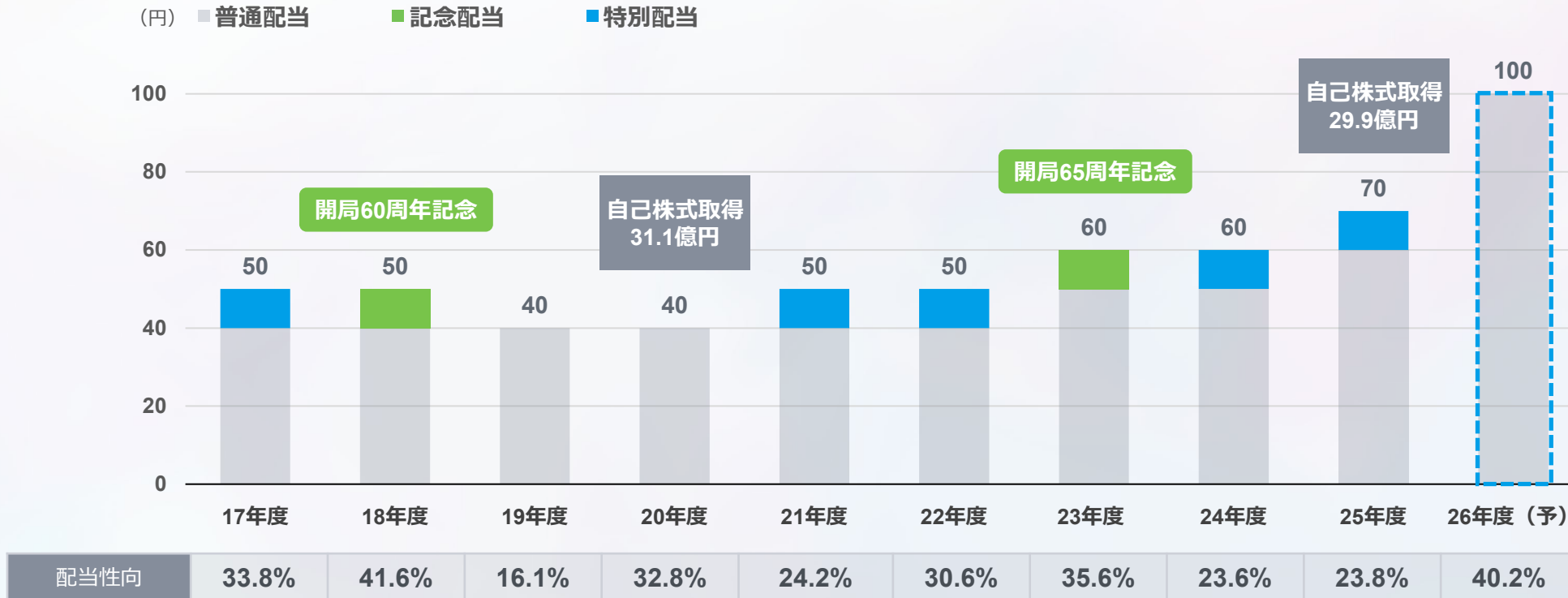


政策保有株式の売却状況



株主還元

株主還元の推移



株主還元方針

- **配当性向40%を目途に**継続的・安定的な配当を実施
急激な経営環境の悪化による著しい業績低迷時等を除き、**1株当たりの年間配当金の下限を60円**とする
- **機動的な自己株式の取得**も実施し、株主還元の強化に努めていく

セグメント区分の変更

報告セグメントをコンテンツ・IP関連と、TDP・イベント関連の**大きな2つのセグメント**に変更
マネジメント・アプローチの視点を明確化し、定量目標の着実な進捗管理をおこなう

【旧セグメント】

テレビ放送	インターネット	ショッピング	その他事業			
テレビ放送	インターネット	ショッピング	映画 DVD等	シアター イベント 不動産賃貸	音楽 出版	その他 リース等

【新セグメント】

メディア・コンテンツ				TDP・イベント	その他	
テレビ放送	インターネット	ショッピング	映画 DVD等	TDP ・シアター イベント 不動産賃貸	音楽 出版	その他 リース等

連結業績予想

※ 2026年度セグメント区分の変更にとまない、2025年度の数値については変更後の区分により作成したものを使用

(単位：百万円)

	2025年度実績 (参考値*)	2026年度予想	前期比	増減率
売上高	339,487	350,000	+ 10,512	+ 3.1%
メディア・コンテンツ事業	308,843	305,700	△ 3,143	△ 1.0%
TDP・イベント事業	26,598	39,400	+ 12,802	+ 48.1%
その他	4,045	4,900	+ 855	+ 21.1%
営業利益 [EBITDA]	26,181 [35,395]	20,000 [31,300]	△ 6,181 [△ 4,095]	△ 23.6% [△ 11.6%]
メディア・コンテンツ事業	25,487	18,300	△ 7,187	△ 28.2%
TDP・イベント事業 [EBITDA]	△ 370 [597]	500 [3,700]	+ 870 [+ 3,102]	— [+ 519.2%]
その他	1,080	1,200	+ 120	+ 11.1%
調整額	△ 16	—	+ 16	—
経常利益	36,572	28,000	△ 8,572	△ 23.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	29,654	25,000	△ 4,654	△ 15.7%

テレビ朝日 地上波広告収入と番組制作費の見込み

(単位：百万円)

2026年度		
タイム	スポット	地上波広告収入 計
△ 1.9%	△ 5.0%	△ 3.6%

2026年度	
番組制作費	
81,000	+ 1.9%

Copyrights

P.17 「IP : アニメ」

(ページ左上から)

「ドラえもん」： ©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK

「クレヨンしんちゃん」： ©臼井儀人/双葉社・シンエイ・テレビ朝日・ADK

インド版「おぼっちゃまくん」： ©1986 Yoshinori Kobayashi/TV Asahi

「あかね噺」： ©末永裕樹・馬上鷹将 / 集英社・「あかね噺」製作委員会

『「きみを愛する気はない」と言った次期公爵様がなぜか溺愛してきます」： ©水埜なつ・三沢ケイ・フレックスコミックス / きみ愛製作委員会

「アルカナディア」： ©KOTOBUKIYA / ARCANADEA Project

「コウペンちゃん」： ©るるてあ/TV アニメ『コウペンちゃん』製作委員会

「しろたん」： © CREATIVE YOKO/TVアニメ『しろたん』製作委員会

「ポップパップポルターズ」： ©MOZU STUDIOS・シンエイ/ポップパップポルターズ

資料に記載されている当社の計画、見通しなどのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から作成されたものであり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。

実際の業績は様々な重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

また、本資料の無断転載はお断りいたします。

弊社IRホームページにて、決算関連資料を公開しております。ぜひ一度ご覧ください。

<https://www.tv-asahihd.co.jp/IR/>

